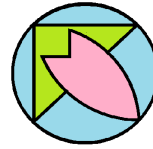


《本学園が目指す児童生徒の姿》

自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒



緑桜学園シンボルマーク

緑の豊かな学区、3校を緑の三角形で表し、桜の花びらを重ねて緑桜学園の頭文字『R』を形取っている。シルエットにすると、上に向かう矢印となっている。

学園経営の重点

一人一人の児童生徒の豊かな個性と創造性を育む学園経営の充実

- ・義務教育9年間を見通し、学習面・生活面において小中の連続性を図る。また、小学校相互の交流、小・中の直接的な交流を図ることで学園としての一体感を醸成し、中学校進学後の中1ギャップ等を防止し、『未来を創造する子どもたちのため』（那珂市小中一貫教育の根幹）の教育を推進する。

＜児童生徒の実態＞

- ・清掃や作業に一生懸命に取り組み、勤労意欲が高い。
- ・明るく素直で思いやりの心をもっている。
- ・自ら判断し、課題を見つけ解決することが苦手である。
- ・人間関係が固定化しがちである。

【なかつこ宣言】

- 1元気よくあいさつします。4がまん強くがんばります。
- 2だれにもやさしくします。5夢に向かって努力します。
- 3まもりを守って生活します。6ふるさとを大切にします。

確かな学力の育成	那珂市 学びのデザイン								
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
	前期（4年間）				中期（3年間）			後期（2年間）	
	○那珂市学びのデザインによる、児童生徒の発達段階に応じた系統的な学習指導の推進								
	○「学習の手引き（那珂市発行）」を活用した家庭学習習慣の確立								
豊かな心の育成	○「なかつこ宣言」を実践し、心豊かに未来に向かって努力する児童生徒の育成								
	○那珂市道徳郷土資料集「ひまわり」を活用して郷土を愛する心の育成								
健やかな体の育成	○体力テストの結果を検証し、その対応に継続的に取り組み健康で力強い体の育成								
	○市陸上記録会等へ向けて計画的・継続的な指導を行い体力・運動技能の向上								
自分らしい生き方や自立	○体験活動、交流活動を通してお互いのよさに気づき、自他を尊重する態度の育成								
	○学園で一貫した「キャリア・パスポート」を活用し、自己実現に向けた学びに向かう力の育成								

緑桜学園
那珂市立芳野小学校



＜学校目標＞

豊かな心と確かな学力を身に付けたたくましく生きる児童の育成

緑桜学園
那珂市立第三中学校



＜学校目標＞

学ぶ意欲と思いやりの心もちたくましく生きる生徒の育成

緑桜学園
那珂市立木崎小学校



＜学校目標＞

夢に向かって共に学び 人間性豊かにたくましく生きる児童の育成

《小小連携・小中連携の取組》

【児童生徒の連携】

- ①小小交流 = 両小5・6年生が互いの学校を訪問し、様々な教育活動を合同で行う。
- ②小中交流 = 両小6年生が中学校を訪問し、3校で体験及び交流活動を行う。
中学生が出身小学校を訪問し、小学生と共にあいさつ運動を行う。
- ③市小中一貫教育の日 = 両小の児童全員が中学校に集まり、小中合同での交流活動を行う。
- ④中学校体験 = 両小の6年生が中学校を訪問、体験活動（授業及び部活動等）を行う。
- ⑤小学校へのボランティア活動 = 7年生が小学校運動会の係活動等の補助を行う。
9年生が母校を訪問し、奉仕作業を行う。（卒業時）

【教職員の連携】

- ・合同引き渡し訓練
- ・合同研修会（年2回）
- ・推進会議（毎月1回）
- ・3部会会議（年3回）

マナブ部会（学力）
マモル部会（生指教相）
ススム部会（キャリア）



①百人一首大会
（両小で仲良く競技）



②お茶摘み体験
（中学生に教わって）



③小学校運動会
（7年生の補助）



④中学校体験
（部活動を体験）

- ・担当者会議（随時）
- ・学園内相互授業参観
- ・保護者へのメール配信、自然災害への対応等について学園内で共通理解を図って対応。